

【専門教育科目/看護の統合と発展】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域医療論		必修	1	4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
伊丹 幸子	304	s.itami	月曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	地域医療の目的と政策を理解し、山梨県及び東部・富士医療圏における地域医療の状況を考察したうえで、住民だれもが、いつでも、どこでも、最良の医療を受ける権利が保障されるような地域医療のありかたについて学習する。地域にある医療システムと医療機関、医療従事者が、その所属する地域でいかに活動すべきかを考え、地域医療における問題点を検討する。さらに、山梨県と東部・富士医療圏の地域医療の課題に対する解決策を考える。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	我が国の医療供給体制や就職予定施設の医療供給体制上の役割・機能を知ることを通して、地域医療における課題解決に果たす看護の役割や我が国の目指すべき地域医療の方向性を考えてほしい。				
教科書	教科書は指定しない				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	地域医療の概念が理解でき、説明できる。	HSU(6),NS(1)(4)			
②	我が国の医療供給体制を説明できる。	HSU(3),NS(2)			
③	地域包括ケアシステム推進の現状と課題を述べられる。	HSU(1),NS(1)~(5)			
④	富士東部地域がおかれた地域医療の現状を述べられる。	HSU(3)(5),NS(3)			
⑤	地域に生きる人々を支える医療・看護役割を記述できる。	HSU(6),NS(1)~(5)			
授業計画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	地域医療の歴史及び現状	講義・演習	地域医療の歴史について、看護学の教科書で調べる。	2	
2	我が国の医療供給体制と地域医療	講義・演習	就職予定施設のある二次医療圏の病床数を調べる。	4	
3	地域医療構想について	講義・演習	地域医療構想について調べる。	4	
4	地域包括ケアシステムと地域医療	講義・演習	地域包括ケアシステムについて復習する。	4	
5	地域医療と看護職の役割	講義・演習	地域医療推進のために看護職の考えをまとめる。	4	
6	山梨県の地域医療への取り組み	講義・演習	県内の二次医療圏にどんな役割を持った病院があるか調べる。	4	
7	地域医療の推進のための課題①検討	講義・演習 グループワーク	示された事例の特徴を整理する。	4	
8	地域医療の推進のための課題②まとめ	講義・演習 グループワーク	課題を整理する。	4	
試	達成度評価・評価ポイントを参照				

【専門教育科目/看護の統合と発展】

		達成度評価						
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	0	50	20	20	10	100	
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	10	0	10	0	20	
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20	
	問題を発見・解決する力	0	10	0	10	0	20	
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
レポート	①	✓	講義内容、自己学習などを踏まえたレポートの作成とする。レポートは、最終講義の後に提出日を設ける。					レポートにコメントを付けて返却する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
ポートフォリオ	①	✓	課題や記録物等を適切な収集・整理ができ、学びについてまとめることができる。					コメントして返却する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
その他	①	✓	出席日数と課題提出等総合的に評価する。出席日数と日々の受講態度、演習等を総合的に評価する。					問題が生じた場合は、個別に面接を行う。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
備考								
他担当教員	なし							
教員の実務経験	保健師として山梨県に35年勤務。県保健師として県庁、保健所、児童相談所、市町村保健師(市町村派遣)業務を経験し、特に富士東部保健所では管理職として地域医療の推進を担当していた。							
実践的授業の内容	保健師・市町村における行政保健師活動の実務経験を元に内容を構築し、地域医療の推進と看護職の役割について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、学習する。							
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回対面授業に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。 ・学生の理解度に応じ、対面授業の速度や順番を調整する可能性がある。 ・教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 ・状況により Teams を使った同双方向型授業を実施する場合は通信容量無制限の Wifi 環境を推奨する。 							